

## 取り組むべき視点③

## 地域特性を生かしたビジネスの創出支援と事業承継

中小企業を取り巻く変化に対応するためには、イノベーションの創出や新たな付加価値を生み出していく必要があるため、本市の地域特性に着目した新たな視点によるビジネスの創出に対する支援が必要である。また、近年、経営者の高齢化が進み、後継者不足による休廃業の増加が地域経済や雇用に大きな影響を及ぼすことが懸念されていることから、先を見据えた事業承継の取組が必要である。

## ◆現在の取組例

## (創業支援)

| 機関          | 取組                           | 内容                                                                                        |
|-------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商工会議所       | 創業支援サポート<br>(ワンストップ相談窓口)     | ・創業に必要な事業計画や資金計画、各種手続など創業に必要な知識やノウハウ等についてのサポートを実施                                         |
| 小樽地域雇用創造協議会 | 小樽商人塾                        | ・創業に向けた心構えから資金調達、マーケティング戦略等についてのノウハウを習得するための創業セミナーを開催                                     |
| 小樽市         | 創業支援補助金<br><br>空き店舗対策支援事業助成金 | ・創業者に対し、事務所等家賃補助、内外装工事費補助及び商店街等家賃補助を実施<br><br>・商店街等の空き店舗を活用して商業店舗の開設又は拡張する場合に店舗家賃補助の一部を助成 |

## (事業承継)

| 機関               | 取組         | 内容                                                                                         |
|------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商工会議所            | ワンストップ相談窓口 | ・ヒアリング、専門家派遣、必要に応じてM & A 取扱業者紹介などを実施                                                       |
| 小樽市              | 中小企業等実態調査  | ・令和2年度に実施する「中小企業等実態調査」における事業承継に関する回答を基に、事業承継に支援が必要と判断される経営者に対する戸別訪問を実施し、制度の周知と支援機関へのつなぎを実施 |
| 日本政策金融公庫<br>小樽支店 | マッチング支援    | ・事業の譲渡希望者と創業や事業拡大などに向けての譲受希望者をつなぐ無料のマッチングサービス                                              |

## ◆振興会議におけるこれまでの意見から

## (創業支援)

- 市外の方を呼び、どう創業につなげていくかが課題。
- 移住による創業で成功している方もいる。市外の創業希望者と小樽らしい物件の紹介などを行うコーディネーターによるマッチングできる仕組みができれば移住者も増えるのではないかな。
- 創業希望者の受け皿として、産学官金の連携によるプラットフォームを支援センターの機能として作り、支援していくのがよいのではないかな。
- 歴史的建造物や古民家があり、家賃が格安であることが小樽の強みであることから、そういうところをPRし、創業に向けての支援を産学官金がチームで対応する仕組みができればよい。



特色を生かした創業支援

## （事業承継）

- 65 歳以上の経営者へのヒアリングでは、“自分の代で廃業する”という経営者が多数を占めた。
- 小規模事業者は家族経営が多く、廃業した場合、家族従業員の流出につながることから人口問題に発展する。
- 事業を承継するには二世帯が生活できるだけの収益が必要であるため、経営を立て直し、収益を上げることが必要になるが、自分の代で廃業を考えている経営者の場合は設備投資等も行わないため、業績を改善させることは難しい。
- 一定規模以上の企業においては後継者が決まっているケースも多いが、税金や株式の問題を整理できるかが課題となる。
- 親族内承継は身内であるがために対話できていない、親族外（従業員）承継は株価が高く、譲り受ける従業員が資金を確保できない、第三者承継（M&A）は仲介手数料が高く、そこで手続が止まるケースもある。
- 事業承継のセミナーを開催しても参加者は少ない。
- 縛られた生き方をしたくないという考えや、育ってきた環境によるところがある。
- 特徴あるものを提供し評価されているところや、技術があるところは承継がうまくいっている。



支援制度の周知と意識啓発

### 【取組の方向性】

#### （創業支援）

- ・市外在住の創業希望者に対する物件情報など創業するに当たって必要となる情報の提供。
- ・創業希望者と事業譲渡希望者とのマッチングなど、関係機関の役割分担と連携による支援体制の拡充。

#### （事業承継）

- ・事業承継に対する経営者の認識や考えなど意識啓発に向けた取組の検討。
- ・事業承継に関する課題の抽出と支援の流れや制度の周知。